

# 実践報告 I

東京都江東区立第四砂町小学校 伊藤優

学年 第4学年

## 【議題】

「特技発表会をしよう」

## 【提案理由】

「学級が発表しやすい雰囲気になったら、自分の居場所を感じられる。また、みんなで認め合うことにより、自信がつく。そこで、特技発表会をして自分のことを気楽に伝えられる学級になりたい。」

## 【話し合い1】

認め合うために、どんな方法や工夫をするのか考えよう。

## 【話し合い2】

役割を考えよう。

## 【決まったこと】

話し合い1：方法・工夫

- ・ルーレット決めた順番で発表する
- ・特技が同じ人とやる
- ・いいねボタン
- ・実況・解説を入れる
- ・スライドや動画を使う
- ・チャレンジ系の特技の際にクイズを入れる
- ・アンケート

話し合い2：役割

- ・司会
- ・はじめの言葉
- ・おわりの言葉
- ・カメラ撮影
- ・実況・解説
- ・いいねボタン作成
- ・アンケート
- ・BGM

学習過程から捉える実践

	事前の活動	本時の活動	事後の活動
<p>◇児童の活動内容</p> <p>◆教師の手立て</p>	<p>◇ある児童が前時の学級会から課題を見いだす。(個) 学級生活をよりよくするために提案者の思いをもとに課題の内容を具体的に捉え直す。(計画)</p> <p>◇議題整理表を使って、議題を選定する。(計画)</p> <p>◇学級状況を踏まえ提案理由を練り上げる。 現状⇒そのためにしたいこと・現在の学級の課題⇒目指す姿(計画)</p> <p>◇タブレット端末を用いて学級会ノートを作成する。(計画)</p> <p>◇意見を背面黒板に掲示して、意見を共有する。(計画)</p> <p>◇全体への説明を通して問題意識を共有する。(全体)</p> <p>◇話し合いへの意識をもてるようにどのような考えがあるか考えの一覧を朝の会で共有する。(全体) どのような考えが出されているか把握し自分の考えと比較する。(個)</p> <p>◆児童のつぶやきを取り上げ議題へとつなげる助言 「議題として提案してみたら」(個)</p> <p>◆何をどのように解決していくのか見通しを持てるようにする助言 「どのような姿をめざすか」「話し合い後に、どのようなになったらいいか」(計画)</p> <p>◆実際のイメージをもつことができるようにする助言 「実際にやってみたらどうかな」(個)</p> <p>◆学級会の進行に関わる話し合いでの助言 「どのような考えが出ていますか」 「どのような考えで話し合いが進みそうですか」 「どれが方法でどれが工夫ですか。分類分けをしてみましょう」(計画)</p> <p>◆出された考えを短冊にして掲示する解決への意欲を持続し高めるための助言 「みんなから出ている考えと自分考えを比べてみよう」 「学級にとってよりよい考えはどれか、それはどうしてか考えておこう」(全体)</p>	<p>◇司会グループが自身の頑張りたいことを学級全員に伝え、活動計画に沿って話し合いを進める。本型の台本を活用し、円滑に話し合いを進める(計画)</p> <p>◇提案者が、提案理由を自分の言葉として学級全体に伝える。(個)</p> <p>◇事前の計画を基に、意見を整理分類する。(計画)</p> <p>◇提案理由に沿って、話し合うこと①「何を伝えるか」について話し合う。話し合いの仕方として、「出し合う→比べ合う→まとめる」の3段階にした。(全体)</p> <p>◆自己変容を捉えながら、話し合いの活発化 学級として学級会ノートを書き、自分の考えをもって話し合いに臨むようにさせた。(個)それでも意見が出にくい場合は、周りの人と話をするよう促した。(計画)</p> <p>◆適切な助言 話し合いがまとめることが難しかったり、相手を否定したりする様子が見られたときは、「提案理由に戻って学級のために相応しい意見は何か」や「～してみるのはどうかな」という助言をした。</p> <p>◆話し合いが進む中で、よりよい考えとなるように意見を整理分類させた。</p>	<p>【準備段階】</p> <p>◇同じ特技の児童同士で協力しながら練習し、仲を深めている様子があった。</p> <p>◇「はじめの言葉」の係は今までにない発表の仕方を考えたり、「いいねボタン」の係はボダンにメッセージを書いたりなど準備を進めてく中でさらなる創意工夫をする様子が見られた。</p> <p>◆準備の進捗状況の確認と提案理由に戻るような助言をした。</p> <p>【集会時】</p> <p>◇「いいねボタン」を使い、どんな発表も認めたり、「いいね」「ナイス」などの言葉で認め合ったりする様子が見られた。</p> <p>◇終始楽しい雰囲気の中で認め合いながら会を進めていた。</p> <p>◆児童が認め合っている様子を記録した。</p> <p>◆終末の助言では、「認め合うことができた」ことを価値付け、次の学級会に繋げる助言をした。</p> <p>【集会後】</p> <p>◇学級会ノートに振り返りを入力し、自分や学級の変容を確かめた。</p> <p>◆実践の様子や学級会ノートに書いた振り返りを動画にまとめた。児童がその動画を見て、自分たちの成長を感じられるようにした。</p>
<p>◎成果</p> <p>●課題と改善策</p>	<p>◎児童の言葉を手掛かりとして、捉えた課題の内容と目指した姿を引き出すことから議題化されたこと</p> <p>◎実際のイメージをもつことで、議題を自分事として捉えたこと</p> <p>◎提案理由を練り上げたことで、何のために話し合い、実践するのか明確になったこと</p> <p>◎計画委員会で意見を共有したことで、学級全体で、事前の話し合いのイメージをもつことができたこと</p> <p>●計画委員会では、やり方を理解している児童がほとんどだが、「司会」の役割に難しさを感じている児童が多くいて、「できる」と感じられる指導が必要である。 ⇒まとめた意見や進行を繰り返し行う。</p>	<p>◎自分のめあてを立てることで、話し合いに自分事として参加する様子が見られるようになった。(個)</p> <p>◎少数意見の尊重をし、合意形成が図ることができた。(全体)</p> <p>◎「比べ合う」の段階で他の児童の意見の解説を行い、話し合い中によりよい人間関係を築くことができた。(全体)</p> <p>◎意見をくっつける合意形成を行うと、集会在うまく進めることができなかつた経験を通して、安易な合意形成を図らないように話し合いを進めることができた。(全体)</p> <p>●反対意見が多く、意見をまとめるのに時間がかかった。相手の意見を受け入れた上で、反対意見を伝える必要がある。</p>	<p>◎一人一人が役割を担い、普段前に出ることが苦手な児童が司会を務めたことで、自信がつく様子が見られた。</p> <p>◎自分達で話し合った工夫を実践したことで、みんなの前で発表することのよさを感じている様子が見られた。</p> <p>◎友達を認め合うことのよさを知り、いろんな声かけを学級生活で行う場面が見られるようになった。</p> <p>●自分事で活動の準備を進めていくことが難しい場面が見られた。 ⇒多く集会活動の経験を積み重ねながら、教師が寄り添い、高学年にて自分達で準備を進められるようにする。</p>

